

## 通学路の見守りに ご協力いただいています



地域のボランティアの方々や保護者をはじめ、警視庁立川警察署、第八方面交通機動隊等多くの皆様により、通学路の見守り活動をしていただいています。児童の登下校の時間帯を中心に、交通量の多い道路や横断歩道等で見守り、パトロール等を実施していただいています。また、毎年実施している通学路合同点検に参加していただき信号のタイミング調整等のハード面、児童への安全指導等に関する学校への助言、不審者情報が多発する地点のパトロール強化等のソフト面からご協力・助言等をいただいています。

子どもたちの安全・安心のため、引き続き皆様のご協力をお願いします。

学務課・内線2516



## 「読書の秋」です。地域で活躍する団体をご紹介します。



子どもたちにおはなしや本を届ける活動



市内には、家庭文庫や地域文庫、読書ボランティアのサークルが12団体あります。

各団体は、それぞれの地域で、文庫活動や図書館のおはなし会のサポート、さまざまな施設でのおはなし会を実施しています。

それらの団体のひとつ「立川おはなしボランティア」は、学校や保育園、図書館や、放

課後子ども教室などで、昔話の語りや読み聞かせを通して、より多くの子どもたちにおはなしや本の楽しさを知ってもらいたいと24年前から活動しています。昔話には、

普遍的な愛や勇気や知恵やユーモアなど、生きる力が浸み込んでいます。子どもたちが、いろいろな国で語り伝えられてきた昔話を耳で聞き、手遊

てきた昔話を耳で聞き、手遊

びや言葉遊び、詩の韻などを楽しみながら、言葉の感性を育み、多文化を理解するひとつの機会になればということ

です。  
特に小学校へのおはなし会では、直接子どもたちに図書館の本を届けることで、読書に親しむきっかけを広げようとしています。

立川中央図書館  
☎(528)6800

地域ではさまざまな団体がそれぞれの分野で活動しています。市民と行政が協力して生涯学習を進めるしくみである「たちかわ市民交流大学」事業では、市民ボランティア団体「市民推進委員会」と協働で市の講座情報を集約した情報誌「きらり・たちかわ」を、

年4回(3月、6月、9月、12月)編集・発行しています。  
市施設のほか、モノレール立川北・南駅など一部民間施設でも配架しています。ぜひお手にとってご覧ください。  
生涯学習推進センター  
☎(528)6872

立川市の  
歴史と  
文化財

40

## 市指定有形文化財 「阿豆佐味天神社本殿」の修復



彫桁下の部材にベンガラを塗る職人

市内に現存する最古の木造建築物である阿豆佐味天神社本殿の大規模な修復が、約2年の歳月をかけ、今年の7月に終わりました。10月には東京文化財ワークショップとして、本殿の一般公開を行いました。覆屋によって普段は目に触れることがない歴史ある建築物だけに、参加者は講師の話に耳を傾けながら、木鼻や破風に施された色鮮やかな牡丹や獅子、象、猿、龍などの彫刻や部材に見入っていました。講師が持参した現物の顔料や和釘を前に、質問も多く飛び交いました。

砂川は江戸時代初期における新田開発によってできた村落のひとつですが、その開発にあたったのは、岸村(現在の武蔵村山市)・瑞穂町の一部の農民たちでした。砂川にある阿豆佐味天神社は、村山郷殿ヶ谷(現在の瑞穂町殿ヶ谷)の阿豆佐味天神社より新田開発とほぼ同時期の寛永6(1629)年に、砂川四番(現在の砂川町4丁目)の地に砂川の村の鎮守として勧請された古社です。現在の本殿は一間社流造、千鳥破風及軒唐破風付、柿葺で、総高約6メートル、桁行約1・8メートル、梁行は約2・8メートルあります。棟札や、木鼻などの絵様や構造的な特徴から、現

在の本殿は、宝永5(1708)年に建立したものが、寛保元(1741)年に破損したため江戸時代中期に修造されたものと考えられますが、正確な建築年代はまだ明らかになっていません。  
今回の修復では、建物の調査も行いました。これまでも、棟札や古文書などの古記録からたびたび修復が行われていたことは分かっています。今回屋根裏で新たに発見された棟札には、「明治十五年九月(1882年)の竣工年月と、関わった職人の名前が列記されており、青梅と東京の四谷、本郷の職人を呼んで明治期にも屋根修理が行われたことが判明しました。各部材の彩色にあたっては、化学的な分析が行われ、どのような顔料や染料が使われたのか、彩色の材料や成分の一端が明らかとなりました。壁面のベンガラ(赤色顔料)の彩色は、風蝕の状況から創建した頃に彩色された可能性が高いことも分かりました。その他の部分の彩色時期は判然としませんが、この分析結果と、かつての痕跡に基づき、それぞれの部材に彩色を施しています。また、長い年月を経て傷んだ軒周りなども部分的に修繕しました。

歴史民俗資料館では、12月10日(心)から2月16日(日)まで、写真展「立川の風景と人のいとなみ―未来に伝えたいからもの―」を開催します。立川市内の風景や、日々の暮らしが垣間見られるような写真のほか、阿豆佐味天神社本殿の修復作業を追った写真を展示します。職人が醸し出す緊迫した空気、真剣な表情などとともに、約300年前の姿に美しく蘇った阿豆佐味天神社本殿を、ぜひご堪能ください。

歴史民俗資料館(生涯学習推進センター)文化財係 ☎(525)0860